

遠方で一人暮らしをしていた母が亡くなったが、多趣味だったこともあり家の中に物があふれている。遺品整理に時間がかかりそうのため、業者に頼もうと考えているが、遺品整理のサービスを契約する際の注意点は。

(50歳代男性)

核家族化や一人暮らし高齢者世帯の増加に伴い、亡くなった親族などの遺品の整理や処分を業者に行ってもらった「遺品整理サービス」が注目されています。

しかし、回収せず残してほしいと伝えていた遺品を勝手に業者が処分したり、作業当日に予定外の料金を請求されたりするなどのトラブルが発生しています。

では、どんな点に注意するとよいのでしょうか。まず、見積もりは複数の業者からとりましょう。料金や契約内容を比べた上で慎重に業者を選び、見積もり自体に料金が発生するか否かも確かめるべきです。

出してもらった見積もりには作業内容や料金、追加料金の有無を明記してもらいましょう。これらの項目は実際に契約を結ぶ段階でも改めて確認し、作業日とキャンセル料も確かめておくことも忘れずに。

作業当日までに、処分する遺品としない遺品をきちんと分けておき、処分しない遺品は別の場所に保管しておくことも、トラブル防止には重要です。

また、作業中に貴金属や金品などが見つかった場合の紛失防止のため、業者の作業にはできるだけ立ち会うようにしましょう。

遺品整理は、故人が生きていた証しや思い出に向き合う大事な機会であり、残された親族などには心の整理にもなります。契約前後に十分な検討と確認を行い、信頼できる業者に依頼して、トラブルなく整理や処分をしたいものです。